

2024年8月29日

各位

SBS 東芝ロジスティクス株式会社

## 日本パッケージングコンテスト 22年連続受賞！ 「工業包装部門賞」を受賞

SBS 東芝ロジスティクス株式会社（社長：金澤寧、本社：東京都新宿区）は、8月28日、公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2024 日本パッケージングコンテスト」において、包装部門賞の「工業包装部門賞」を受賞し、当コンテストにおける22年連続受賞を達成しました。



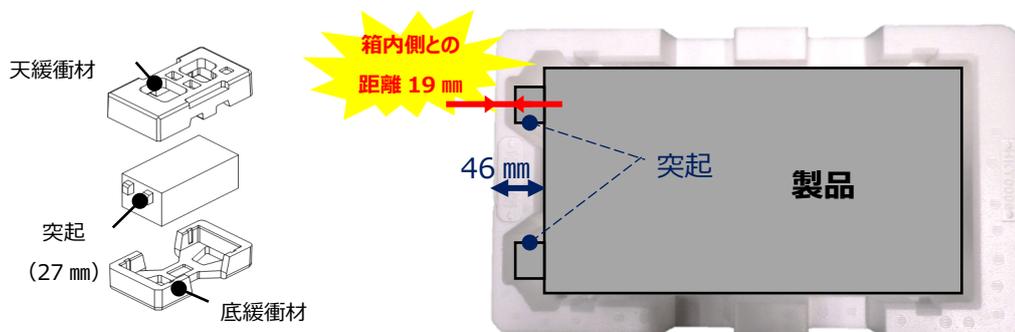
今回の作品は、一昨年にジャパンスター賞の「日本貿易振興機構（ジェトロ）理事長賞」を受賞した当社作品（『リチウムイオン電池 100%リサイクル EPS と極限収納』）を活用し、輸送効率の向上と100%リサイクルEPS（発泡スチロール）を適用した事例で、全392件の応募の中から選出されました。

### ■工業包装部門賞

#### 『リチウム電池包装 緩衝厚み極限まで容積縮小した100%リサイクルEPS適用拡大化』

対象製品であるリチウム電池のトータルロジコストの大半を占める海上コンテナ輸送の最大積載化（33%向上）を目標とし、包装容積の縮小、すなわち緩衝材の厚みを極限まで縮小することを目指しました。特に、電池つま面にある脆弱突起と段ボール箱内面間の隙間を19mm（緩衝距離46mm）まで縮小することにより、輸送品質を確保した上で、輸送コストと輸送CO<sub>2</sub>排出量のそれぞれ25%を削減しました。

また、包装容積を縮小させながらも耐久性を維持するため、当社は「硬さ」と「緩衝性」の2点を重視しました。高さ1.2mからの自由落下試験を行い、「硬さ」では脆弱突起部の底付き回避を、「緩衝性」では電池筐体のクラック等の損傷回避を可能にする、100%リサイクルEPS（発泡スチロール）を使用した緩衝材の開発設計に取り組んだことで、欧米などで用いられる「包装廃棄物の特定重金属規制」に準拠した100%リサイクルEPS包装の第2弾が実現しました。



当社は今後も、お客様へ輸送効率、SDGs視点での改善、更に製品企画開発段階まで遡ったDFL（Design for Logistics）提案をお勧めできるよう努め、社会に貢献してまいります。

以上

< SBS 東芝ロジスティクス株式会社 概要 > (2023年12月期)

本社住所：東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー25階

代表者：代表取締役社長 金澤 寧

設立：1974年10月1日

親会社：SBSホールディングス株式会社 (持株比率 66.6%)

資本金：21億28百万円

売上高：935億84百万円 (単独)

従業員数：778名

関連会社：TLロジサービス(株) 他

事業内容：倉庫業、貨物利用運送事業、機械器具設置工事業、とび・土工工事業、通関業  
航空運送代理店業、物流コンサルティング

URL：<https://www.sbs-toshibalogistics.co.jp/>

## ■本件に関するお問い合わせ先

SBS 東芝ロジスティクス株式会社 総務部

TEL：03-6772-8201 (代表) / URL：<https://www.webcoms.jp/sbstlog/contact/>

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。